



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年5月13日

上場会社名 株式会社アイスコ 上場取引所 東
コード番号 7698 URL <https://www.iceco.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相原 貴久
問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 永野 泰敬 (TEL) 045(811)1302
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 2025年6月26日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	54,717	8.4	627	38.8	691	38.9	481	51.1
2024年3月期	50,498	12.5	452	285.9	497	178.1	318	120.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	123.46	119.48	13.3	4.1	1.1
2024年3月期	82.33	80.74	9.7	3.1	0.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	17,357	3,839	22.1	982.71
2024年3月期	16,756	3,431	20.5	881.67

(参考) 自己資本 2025年3月期 3,838百万円 2024年3月期 3,429百万円

当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	178	△729	△414	1,437
2024年3月期	1,667	△1,086	△145	2,403

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	ー	19.00	ー	19.00	38.00	73	23.1	2.2
2025年3月期	ー	19.00	ー	10.00	ー	76	15.8	2.1
2026年3月期(予想)	ー	10.00	ー	10.00	20.00			

当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「ー」として記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の1株当たり期末配当金は20円00銭となります。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	57,000	4.2	656	4.6	691	0.0	445	△7.5	113.93

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	3,905,900株	2024年3月期	3,890,300株
② 期末自己株式数	2025年3月期	96株	2024年3月期	一株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	3,901,437株	2024年3月期	3,873,143株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想の将来に関する記述は、業績に与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 2025年5月28日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。また、決算補足説明資料につきましては、2025年5月26日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善するなど、景気は緩やかな回復傾向が続いておりますが、米国の政策動向が国内の景気を下押しするリスク等が懸念されており、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

当社が身を置く食品流通業及びスーパーマーケット業につきましては、円安の進行や原材料価格の高騰に伴う食品の値上げにより、消費者の節約志向がより一層進行することで、消費マインドが冷え込む厳しい経営環境となっております。

このような情勢のなか、当社は当事業年度よりスタートした第二次中期経営計画において「環境変化への徹底対応」を基本方針とし、3つの重点テーマである「人的資本経営の実践」、「収益力の改革加速」及び「新規事業の育成」を進めております。その一環である物流網構築の強化策として、埼玉県に関東マザーセンター(仮称)を建設することを決定しました。関東マザーセンター(仮称)は、経済産業省の「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」に採択されており、当社初となる冷凍の立体自動倉庫の導入を予定し、サテライト拠点の展開をさらに推し進めることが可能となります。また、2024年7月には横浜市金沢区に横浜営業所を着工し、2025年4月に稼働いたしました。新規事業の冷凍食品専門店「FROZEN JOE'S」は、2024年7月に横浜市泉区の「ゆめが丘ソラトス」内に3号店を出店し、事業拡大に向けて取り組んでおります。

加えて資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、株主優待制度を新設いたしました。引き続き企業価値の向上に取り組んでまいります。

当事業年度はドラッグストアやディスカウントストアといった主要得意先との取引が堅調に推移したことにより、売上高は54,717百万円(前期比8.4%増)、売上総利益は9,573百万円(前期比10.6%増)となりました。また、利益面については、人的資本経営の実践のため人事制度の改定や、採用を強化した結果、人件費や採用費が増加しましたが、配送効率の改善やスーパーマーケット事業の収益が改善した結果、販売費及び一般管理費は8,945百万円(前期比9.0%増)、営業利益は627百万円(前期比38.8%増)、経常利益は691百万円(前期比38.9%増)、当期純利益は481百万円(前期比51.1%増)となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

a. フローズン事業

フローズン事業につきましては、売上高は、主要得意先であるドラッグストアの新規出店等により堅調に推移いたしました。利益面につきましては、人的資本経営の実践のため人事制度の改定や、採用を強化した結果、人件費や採用費が増加しましたが、配送効率の改善により前年を上回りました。

以上の結果、フローズン事業の売上高は47,688百万円(前期比8.5%増)、セグメント利益は553百万円(前期比4.6%増)となりました。

b. スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業につきましては、低価格商品ニーズへの対応を進めながら、商品の鮮度・品質・品揃えに徹底的にこだわった販売を行い、管理コストの削減や、販売促進費の見直し等、抜本的な改革に取り組んだ結果、スーパーマーケット事業の売上高は7,029百万円(前期比7.6%増)、セグメント利益は73百万円(前期はセグメント損失77百万円)と黒字化を達成いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当事業年度末の流動資産は前事業年度末に比べて97百万円減少し、9,668百万円となりました。これは主に未収入金が917百万円増加した一方で、現金及び預金が965百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて698百万円増加し、7,688百万円となりました。これは主に、2025年4月開設の横浜営業所の建物が285百万円、機械及び装置が144百万円それぞれ増加したこと等によるものです。この結果、当事業年度末における総資産は前事業年度末に比べ600百万円増加し、17,357百万円となりました。

(負債)

当事業年度末の流動負債は前事業年度末に比べて216百万円減少し、10,331百万円となりました。これは主に、フローレン事業の仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が206百万円増加した一方で、返済により短期借入金が700百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて408百万円増加し、3,186百万円となりました。これは主に、新規の借入により長期借入金が333百万円増加したこと等によるものです。

この結果、当事業年度末における負債は前事業年度末に比べ192百万円増加し、13,518百万円となりました。

(純資産)

当事業年度末の純資産は前事業年度末に比べて408百万円増加し、3,839百万円となりました。これは主に、利益剰余金が407百万円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物の残高は1,437百万円と前事業年度末に比べ965百万円(40.2%)減少となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは178百万円の収入(前期は1,667百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の減少額が182百万円(前期は1,036百万円の増加)となった一方で、未収入金の増加額が917百万円(前期は756百万円の減少)、税引前当期純利益が691百万円(前期比213百万円増加)となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは729百万円の支出(前期は1,086百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が18百万円となった一方で、有形固定資産の取得による支出が740百万円(前期は1,123百万円)となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは414百万円の支出(前期は145百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入による収入が760百万円となった一方で、短期借入金の減少額が700百万円、長期借入金の返済による支出が409百万円(前期は396百万円)となったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善により、緩やかな景気回復の継続が期待される一方で、米国の政策動向が国内の景気を下押しするリスク等が懸念されるなど、依然として先行きの見通せない不透明な状態が続くと予想されます。

このような状況の中、2025年3月期を初年度とする第二次中期経営計画をスタートし、重点テーマとして「人的資本経営の実践」、「収益力の改革加速」及び「新規事業の育成」の3つを掲げ、取り組んでまいります。

フローズン事業における経営環境は、相次ぐ値上げの影響で消費者の節約志向は高まっているものの、即食簡便な冷凍食品需要は旺盛であり、引き続き拡大傾向にあります。また、当社の主要な得意先であるドラッグストア業態においても引き続き出店が続くことが予想され、また、小売業全体においても省人化・効率化のニーズは依然として高まることが見込まれるため、売上高は好調に推移すると見込んでおります。

このような追い風の市場環境を踏まえ、2025年4月稼働の横浜営業所への設備投資を皮切りに、当社における過去最大の投資である2026年12月稼働予定の関東マザーセンター（仮称）への設備投資など、事業拡大を見据えた攻勢のフェーズに移行してまいります。引き続き倉庫機能の自動化や配送の効率化に向けて、積極的な設備投資を行う方針であります。次期以降、大型の設備投資にともなう減価償却費の増加や、政策金利の引き上げに伴う支払利息の増加など、一時的な利益面の伸び悩みが懸念されますが、中長期における業績拡大を見据え、フローズン市場における競争力の強化を狙ってまいります。

スーパーマーケット事業においては、節約志向の高まりによる個人消費の低迷や、業種の垣根を越えた激しい競争が続いておりますが、現場主義を徹底し、お客様目線に立った売り場づくりを行った結果、当事業年度に黒字化を達成いたしました。また、出店については当事業年度は行っておりませんが、立地条件等を精査し、収益性が高まると判断した場合には新規出店を行ってまいります。

このような状況のもと、2026年3月期の業績予想につきましては、売上高57,000百万円（前期比4.2%増）、営業利益656百万円（前期比4.6%増）、経常利益691百万円（前期比0.0%増）、当期純利益445百万円（前期比7.5%減）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元が経営の重要政策の一つであると考えており、業績や将来の事業展開、収益力の向上、財務体質の強化のための内部留保などを総合的に勘案しつつ、安定した配当及び株主優待を継続することを基本方針としております。

当事業年度の1株当たり配当金は、中間配当19円00銭（株式分割前）をお支払いしております。期末配当については10円00銭をお支払いすることといたしました。

また、次期の1株当たり配当金は、業績予想を鑑み、中間配当10円00銭、期末配当10円00銭とさせていただきます。

なお、株主の皆様への利益還元の一環として実施しております株主優待制度につきましては、祖業であるアイスクリーム業界への貢献を目指し、以下の内容にて、株主優待品を贈呈させていただいております。

株主優待制度の内容

基準日	基準単元（株数）	優待内容
毎年3月末日	1単元（100株）	ハーゲンダッツギフト券4枚
毎年9月末日	1単元（100株）	ハーゲンダッツギフト券4枚

※1枚でミニカップ・クリスピーサンド・パーのいずれか2個とお引き換え可能

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,435,765	1,470,557
受取手形及び売掛金	5,199,081	5,016,186
商品	704,454	840,032
未収入金	1,403,981	2,321,079
その他	23,386	21,675
貸倒引当金	△543	△629
流動資産合計	9,766,124	9,668,902
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,027,190	2,312,620
機械及び装置(純額)	138,847	283,092
車両運搬具(純額)	66,709	184,014
工具、器具及び備品(純額)	180,533	141,137
土地	3,217,359	3,241,859
建設仮勘定	—	10,920
その他(純額)	63,535	134,541
有形固定資産合計	5,694,176	6,308,185
無形固定資産		
ソフトウェア	18,524	70,226
その他	7,113	7,068
無形固定資産合計	25,638	77,295
投資その他の資産		
投資有価証券	32,495	19,562
繰延税金資産	542,970	592,299
保険積立金	14,965	15,837
差入保証金	669,264	667,985
その他	11,078	8,313
貸倒引当金	—	△907
投資その他の資産合計	1,270,774	1,303,091
固定資産合計	6,990,588	7,688,572
資産合計	16,756,713	17,357,474

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,943,386	8,150,028
短期借入金	700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	374,282	392,174
未払金	408,082	671,249
未払費用	604,561	657,084
未払法人税等	209,787	176,377
未払消費税等	70,450	65,438
賞与引当金	146,846	162,407
その他	90,766	57,008
流動負債合計	10,548,163	10,331,769
固定負債		
長期借入金	1,748,914	2,082,090
長期未払金	155,100	155,100
退職給付引当金	714,105	787,922
資産除去債務	120,614	122,524
その他	38,666	38,668
固定負債合計	2,777,400	3,186,305
負債合計	13,325,564	13,518,075

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	372,065	377,663
資本剰余金		
資本準備金	297,065	302,663
資本剰余金合計	297,065	302,663
利益剰余金		
利益準備金	12,818	12,818
その他利益剰余金		
特別償却準備金	4,846	—
圧縮積立金	44,647	44,073
繰越利益剰余金	2,689,037	3,101,490
利益剰余金合計	2,751,350	3,158,381
自己株式	—	△117
株主資本合計	3,420,481	3,838,592
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,489	△301
評価・換算差額等合計	9,489	△301
新株予約権	1,178	1,109
純資産合計	3,431,149	3,839,399
負債純資産合計	16,756,713	17,357,474

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	50,498,561	54,717,434
売上原価		
商品期首棚卸高	615,588	704,454
当期商品仕入高	41,931,465	45,279,567
合計	42,547,053	45,984,021
商品期末棚卸高	704,454	840,032
売上原価合計	41,842,599	45,143,989
売上総利益	8,655,962	9,573,444
販売費及び一般管理費	8,203,639	8,945,465
営業利益	452,322	627,979
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,678	10,695
有価証券売却益	—	9,316
不動産賃貸料	51,378	51,471
雑収入	25,793	31,740
その他	2,360	1,017
営業外収益合計	90,210	104,241
営業外費用		
支払利息	15,043	23,635
不動産賃貸費用	14,064	14,530
資金調達費用	15,000	—
その他	498	2,430
営業外費用合計	44,606	40,596
経常利益	497,926	691,624
特別利益		
保険解約返戻金	30,876	—
特別利益合計	30,876	—
特別損失		
減損損失	50,963	—
特別損失合計	50,963	—
税引前当期純利益	477,839	691,624
法人税、住民税及び事業税	223,388	255,654
法人税等調整額	△64,422	△45,693
法人税等合計	158,965	209,960
当期純利益	318,873	481,663

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計		
					特別償却 準備金	圧縮積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	360,832	285,832	285,832	12,818	21,018	44,647	2,425,535	2,504,020	—	3,150,684
当期変動額										
新株の発行	11,233	11,233	11,233							22,467
剰余金の配当							△71,544	△71,544		△71,544
当期純利益							318,873	318,873		318,873
自己株式の取得								—		—
税率変更による積立 金の調整額								—		—
特別償却準備金の 取崩					△16,172		16,172	—		—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)										
当期変動額合計	11,233	11,233	11,233	—	△16,172	—	263,501	247,329	—	269,796
当期末残高	372,065	297,065	297,065	12,818	4,846	44,647	2,689,037	2,751,350	—	3,420,481

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	14,025	14,025	1,373	3,166,083
当期変動額				
新株の発行				22,467
剰余金の配当				△71,544
当期純利益				318,873
自己株式の取得				—
税率変更による積立 金の調整額				—
特別償却準備金の 取崩				—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	△4,536	△4,536	△195	△4,731
当期変動額合計	△4,536	△4,536	△195	265,065
当期末残高	9,489	9,489	1,178	3,431,149

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本									自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計			
		資本準備金	資本剰余金合計		特別償却準備金	圧縮積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	372,065	297,065	297,065	12,818	4,846	44,647	2,689,037	2,751,350	—	3,420,481	
当期変動額											
新株の発行	5,598	5,598	5,598							11,196	
剰余金の配当							△74,057	△74,057		△74,057	
当期純利益							481,663	481,663		481,663	
自己株式の取得									△117	△117	
税率変更による積立金の調整額						△574		△574		△574	
特別償却準備金の取崩					△4,846		4,846	—		—	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)											
当期変動額合計	5,598	5,598	5,598	—	△4,846	△574	412,452	407,031	△117	418,110	
当期末残高	377,663	302,663	302,663	12,818	—	44,073	3,101,490	3,158,381	△117	3,838,592	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	其他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	9,489	9,489	1,178	3,431,149
当期変動額				
新株の発行				11,196
剰余金の配当				△74,057
当期純利益				481,663
自己株式の取得				△117
税率変更による積立金の調整額				△574
特別償却準備金の取崩				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△9,791	△9,791	△69	△9,860
当期変動額合計	△9,791	△9,791	△69	408,249
当期末残高	△301	△301	1,109	3,839,399

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	477,839	691,624
減価償却費	320,647	381,567
減損損失	50,963	—
受取利息及び受取配当金	△10,678	△10,695
支払利息	15,043	23,635
保険解約返戻金	△30,876	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,036,197	182,894
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△88,427	△135,349
未収入金の増減額 (△は増加)	756,335	△917,098
仕入債務の増減額 (△は減少)	943,817	206,642
未払金の増減額 (△は減少)	98,069	△42,531
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,511	15,560
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	43,135	73,816
その他	194,867	7,537
小計	1,743,051	477,603
利息及び配当金の受取額	10,168	10,778
利息の支払額	△15,043	△23,635
法人税等の支払額	△70,941	△286,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,667,234	178,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,123,032	△740,295
有形固定資産の売却による収入	888	1,017
無形固定資産の取得による支出	△18,024	△126
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
投資有価証券の売却による収入	—	18,246
保険積立金の積立による支出	△6,122	△871
保険積立金の解約による収入	83,499	—
差入保証金の差入による支出	△31,122	△527
差入保証金の回収による収入	7,555	3,810
その他	60	△375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,086,298	△729,120
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△700,000
長期借入れによる収入	300,000	760,350
長期借入金の返済による支出	△396,047	△409,282
ストックオプションの行使による収入	22,272	6,137
自己株式の取得による支出	—	△117
配当金の支払額	△71,544	△71,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,319	△414,723
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	435,617	△965,213
現金及び現金同等物の期首残高	1,967,556	2,403,173
現金及び現金同等物の期末残高	2,403,173	1,437,960

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。当社は主として事業の業態を基礎としたセグメントから構成されており、「フローズン事業」「スーパーマーケット事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「フローズン事業」：アイスクリーム、冷凍食品等の卸売り及びフローズン専門店の運営

「スーパーマーケット事業」：生鮮食品等の小売り

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、3	財務諸表 計上額
	フローズン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,967,493	6,531,068	50,498,561	—	50,498,561
セグメント間の内部 売上高又は振替高	250,961	—	250,961	△250,961	—
計	44,218,454	6,531,068	50,749,522	△250,961	50,498,561
セグメント利益又は損失(注) 2、4	529,435	△77,112	452,322	—	452,322
セグメント資産	10,667,394	2,739,759	13,407,154	3,349,559	16,756,713
その他の項目					
減価償却費	215,914	104,807	320,722	—	320,722
減損損失	50,963	—	50,963	—	50,963
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	830,056	339,108	1,169,165	—	1,169,165

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△250,961千円は、セグメント間取引消去等であります。
2. セグメント利益又は損失には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。
3. セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産等であります。
4. セグメント利益又は損失は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、3	財務諸表 計上額
	フローズン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,688,029	7,029,405	54,717,434	—	54,717,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	284,508	—	284,508	△284,508	—
計	47,972,537	7,029,405	55,001,943	△284,508	54,717,434
セグメント利益(注) 2、4	553,998	73,981	627,979	—	627,979
セグメント資産	11,556,362	2,671,903	14,228,266	3,129,208	17,357,474
その他の項目					
減価償却費	274,078	107,489	381,567	—	381,567
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,041,079	6,155	1,047,234	—	1,047,234

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△284,508千円は、セグメント間取引消去等であります。
2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。
3. セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産等であります。
4. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社クリエイトエス・ディー	10,386,704	フローズン事業
株式会社ドン・キホーテ及びそのグループ会社	10,296,299	フローズン事業
株式会社コスモス薬品	8,418,636	フローズン事業

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社クリエイトエス・ディー	11,846,235	フローズン事業
株式会社ドン・キホーテ及びそのグループ会社	10,557,919	フローズン事業
株式会社コスモス薬品	8,521,853	フローズン事業
スギホールディングス株式会社	5,741,913	フローズン事業

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	881.67円	982.71円
1株当たり当期純利益	82.33円	123.46円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	80.74円	119.48円

(注) 1. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	318,873	481,663
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	318,873	481,663
普通株式の期中平均株式数(株)	3,873,143	3,901,445
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	76,303	130,020
(うち新株予約権(株))	(76,303)	(130,020)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。